



Sake Salon #23

伝統と革新への限りない挑戦

伏見 Sake Night

多くの日本人にとって、京都という町は何か特別な意味を持っています。

京都の持つ伝統文化の美しさは、誰も否定することのできない「本物」であり、この古都に生まれ育った人は、気付かぬ間にその「歴史」と「伝統」の重さを身にまとい、京都人ならではの「誇り」を心に秘めているように感じられます。

京都市の南に広がる伏見区は、京都と大阪を結ぶ水運の要として、そして何よりもそこに湧き出る素晴らしい名水のゆえに室町時代から日本を代表する酒の産地として栄えてきました。今も数多くの酒蔵が立ち並ぶ美しい風景は、多くの観光客を集め、旅の思い出を育んでいます。

来る10月28日(月)から11月1日(金)の期間、東京駅構内地下1階改札外の「動輪の広場」にて、伏見の酒が一堂に会する「伏見 SAKEZO'S BAR」というイベントが開催されます。

このイベントに先立って日本の酒情報館にて伏見酒を体験するイベントが行われます。

1675年創業の老舗蔵元(株)増田徳兵衛商店の増田徳兵衛社長、そして1657年創業の老舗蔵元(株)北川本家の北川幸宏社長がお見えになり、伏見の歴史とその酒について語っていただきます。貴重なチャンスですので、是非ご参加下さい。

30名限定の会ですので、お早めにお申し込みください。

- 日時： 10月28日(月) 19:00~21:00
- 場所： 日本の酒情報館(地下鉄銀座線「虎ノ門」駅より徒歩3分)
<http://www.japansake.or.jp/sake/know/data/index.html>
- 参加費： 3,000円(軽食もご用意します)
- 申込み： Peatixよりお願いします <https://jss-event191028.peatix.com/>

